

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（4月定例会）会議録
開催日時	平成26年4月21日（月曜日）午後2時から4時30分まで
開催場所	保谷庁舎4階 研修室
出席者	委員：須永議長、内田副議長、岩崎委員、川崎委員、木下委員、操野委員、沼本委員、服部委員、原委員、古家委員、森田委員、矢野委員 事務局：山本課長、吉田係長、神田主査 欠席：山田委員
議題	(1) 今後の活動について (2) 報告 その他
配布資料	資料1 提言検討作業について（案） 資料2 提言策定作業スケジュール（案） 資料3 社会教育施策の今後のあり方について（提言）平成25年6月 資料4 西東京市における「放課後子供教室」のあり方について（提言）平成23年12月 資料5 西東京市生涯学習推進計画（平成21年度～平成25年度）（抜粋） 資料6 資料「部会1」団体活動の活性化に向けた支援 ・事務事業評価シート「社会教育関係団体補助金」（平成25年度） ・補助金申請事業一覧（平成16年度～平成25年度） ・事務事業評価シート「公民館活動事業（市民企画事業）」（平成25年度） ・西東京市公民館市民企画事業実施要綱 ・平成24年度公民館市民企画事業一覧（平成24年度事務報告より抜粋） 資料7 資料「部会2」地域生涯学習事業の見直し ・事務事業評価シート「地域生涯学習事業」（平成24年度） ・地域生涯学習事業実施要綱 ・平成24年度地域生涯学習事業（平成24年度事務報告より抜粋） ・平成24年度学校施設開放（放課後子供教室事業）（平成24年度事務報告より抜粋） ・平成24年度地域生涯学習事業の実施状況 ・事務事業評価シート「校施設開放（放課後子供教室事業）」（平成25年度） ・西東京市立学校施設開放（放課後子供教室事業）実施要綱 資料8 資料「部会3」生涯学習情報の整備 ・西東京市ホームページ「生涯学習人材情報提供事業」 ・西東京市ホームページ「組織紹介・公民館」 ・西東京市ホームページ「組織紹介・図書館」 資料9 第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会開催要項（案） 資料10 第45回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会開催要項用原稿書式 ・社会教育委員研修会

	「社会教育の可能性 社会の現状とその対応に向けて」 レジメ・資料（事前送付） ・西東京市社会教育委員名簿 26.4.1 ・全国社会教育委員連合会 ニュースレターN015 ・早ね早おき朝ごはん リーフレット ・西東京市教育計画（平成26年度～平成30年度） ・西東京市教育計画（平成26年度～平成30年度）（概要版） ・今後の社会教育行政の運営体制について提言（依頼）「写」
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ■会議内容の要点記録
会議内容	
新任の古家委員へ任命書の交付 4月1日付の委員の変更と社会教育課の人事異動について事務局から報告 ・校長会の人事異動により、校長会推薦委員が屋宮校長から保谷第二小学校の古家校長に変更となった。 ・社会教育係に1名増員され、管財課から阿久津主事が着任、地域連携係の三輪主事が会計課に異動し、スポーツ振興課から桂主事が着任、社連協副会長市としての事務対応として東臨時職員が配置された。 平成26年3月定例会議の会議録を承認する。 議題（1）今後の活動について ※議長より、提言依頼の報告 ・本日、定例会に先立ち、正副議長が教育長より、別紙「今後の社会教育行政の運営体制について提言（依頼）写」のとおり、正式に提言依頼を受けた。10月に中間報告をし、12月までに提言書としてまとめて欲しいということだった。 1.正副議長(25.7.1～27.6.30)の選出について ○事務局： 正副議長の任期は1年間となっているので、現正副議長の任期は平成26年6月30日までとなる。今後の活動予定の検討にあたり、7月からの正副議長を選任していただきたい。事務局としては、都市社連協の副会長市、12月までの提言提出と前任期から引き続きの課題があるので、現任のまま、須永議長、内田副議長でお願いしたいと考えている。 ○全委員： 異議なし。 決定 議長 須永 功 委員 副議長 内田 日出子委員	

2. 提言の検討作業について

※事務局より、配布資料1～配布資料8に添って、提言の策定作業およびスケジュール、部会検討資料について説明。

「主な意見」

○委員：

調査活動の対象に、図書館事業も含めて考えて良いのか。

○事務局：

配布資料1では、例として実態把握と調査活動を挙げているので、必要に応じて、部会の中で調査活動の内容は決めていただいて良いと考えている。

○委員：

生涯学習情報ということでは、社会教育課で人材情報が整備されていると思うが、今後どういう検討をしていく事になるのか。

○事務局：

生涯学習情報は、団体情報、事業情報、施設情報、人材情報など多岐にわたるもので、社会教育課だけではなく庁内全体では、いろいろな情報を把握していると思われる。そのため、情報の整備に向けては、庁内全体の情報の共有化や活用方法、庁内のネットワークや相談窓口の集中化等について検討していく事になる。今後の生涯学習情報の整備の方向性のイメージをつくるのが、今回の組織体制の提言内容にもつながると考えている。

○委員：

今回の提言の検討作業は、社会教育や生涯学習の推進に向けた施策について再整理をし、そのための推進体制を考えていく事だと思う。

○委員：

部会に分かれて広く検討した後、その内容を提言としてまとめていく作業があると思うが、それを担当する人を決めた方が良いのではないかな。また、部会での検討を全体のまとめに向けて、調整するような人も必要ではないかな。

○議長：

前回の提言は起草委員を設置して作成した。今回の提言作成に向けた作業としては、部会で方向性の検討やたたき台を作成し、定例会での部会報告を受け、全員で意見を出し合い、検討していく形になると思う。最終的には、部会での作業や全体での検討状況により起草委員会が必要かどうか判断したい。それまでの間は、議長が、部会に入らず、全体をみて調整にあたりたいと思う。

3. 関東甲信越社会教育研究大会事例発表について

○事務局：

配布資料9のとおり、第4分科会の事例発表を担当することになった。今回概要原稿案文を資料10のとおり作成したので内容について検討して頂きたい。

○委員：

事例発表のための作業を部会と別に進めるのではなく、今回の提言作成作業が報告として整えられたら良いと思う。

○委員：

部会の内容がそのまま事例発表という形にはならない気がする。

○委員：

提言取組過程の中から、社会教育委員として報告できることを探りたい。

○事務局：

各部会での検討の中で、それぞれ施設のあり方を検討する内容が出てくると思われるので、それらを集めて事例発表できるのではないかと思います。

○委員：

活動事例を聞いても、地域の状況が異なり、なかなか取り組めない部分がある。

研修会の参加者も、社会教育委員が何をやるのかを知りたいのではないかと思います。大会での事例発表としては、社会教育委員の役割として何をやるのかということを取り上げていく事が大切ではないか。

○事務局：

発表の中では社会教育委員の役割に触れることが必要だと思うが、概要は文字数も限られているので、発表レジメ等の中では盛り込むことができるのではないだろうか。

○議長：

今回の意見を参考にして、文案は、正副議長と事務局で再度検討し、提出する。

4.部会の設置について

※議長よりの部会の構成案について、確認の上、今後の予定等について決定する。

決定

・3つの部会を設置して、提言の検討を進める。

・議長は部会をとりまとめることとし、学校長と岩崎委員はオブザーバーとして入り委員12名で部会を担当する。

(部会の構成メンバー)

「部会1」 内田委員 木下委員 森田委員 (山田委員)

「部会2」 矢野委員 操野委員 沼本委員 (古家委員)

「部会3」 原 委員 川崎委員 服部委員 (岩崎委員)

(部会の今後の予定)

「部会1」 4月25日(金曜日) 午後5時から

「部会2」 5月7日（水曜日）午後1時30分から・5月24日（土曜日）午後1時30分から
「部会3」 5月7日（水曜日）午後1時30分から

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（4月定例会）は終了する。

※次回会議 平成26年5月19日（月曜日）午後2時